

みずほCustomer Desk Report 2024/02/19 号 (As of 2024/02/16)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	150.26 AUD/USD
TKY 9:00AM	149.95	1.0773	161.53	1.2599	0.6526
SYD-NY High	150.65	1.0787	161.92	1.2624	0.6544
SYD-NY Low	149.85	1.0733	161.45	1.2551	0.6497
NY 5:00 PM	150.23	1.0776	161.86	1.2600	0.6533
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	38,627.99	▲ 145.13	日本2年債	0.1400%	0.0100%
NASDAQ	15,775.65	▲ 130.52	日本10年債	0.7300%	0.0100%
S&P	5,005.57	▲ 24.16	米国2年債	4.6405%	0.0634%
日経平均	38,487.24	329.30	米国5年債	4.2738%	0.0564%
TOPIX	2,624.73	32.88	米国10年債	4.2802%	0.0473%
シカゴ日経先物	38,315.00	▲ 270.00	独10年債	2.4000%	0.0475%
ロンドンFT	7,711.71	114.18	英10年債	4.1090%	0.0645%
DAX	17,117.44	70.75	豪10年債	4.1990%	0.0440%
ハンセン指数	16,339.96	395.33	USDJPY 1M Vol	7.15%	▲ 0.43%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	8.70%	▲ 0.36%
NY金	2,024.10	9.20	USDJPY 6M Vol	9.02%	▲ 0.27%
WTI	78.46	0.87	USDJPY 1M 25RR	▲ 0.62%	Yen Call Over
CRB指数	272.59	1.31	EURJPY 3M Vol	8.25%	▲ 0.22%
ドルインデックス	104.30	0.00	EURJPY 6M Vol	8.75%	▲ 0.15%

東京	東京時間のドル円は149.95レベルでオープン。米金利が底堅く推移する中、ドル買いが強まるとドル円は150.37まで上昇。ただ、一段の上昇には材料不足感もあり同水準でもみ合うと結局150.19レベルでクロスした。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、150.19レベルでオープン。およそ15銭の小幅レンジで推移し150.29円でNYに渡った。ポンドドルは、1.2583レベルでオープン。朝方に発表された英1月小売売上が予想を上回る結果に1.2606まで買われる場面もあったが結局ほぼ変わらずの1.2583でNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は149円台後半でスタート。日経平均株価が史上最高値に迫った展開を受け、円売りが優勢となったことから、150.30付近まで上昇。その後は米PPIの結果発表を控え横ばいで推移し、150.29でNYオープン。朝方に発表された米1月PPIは予想を上回り、市場はドル買いで反応し、150.65まで上昇。しかし、続いて発表された米2月ミシガン大学消費者マインド指数が予想を下回り、米金利が低下する動きに追随し、150.10付近まで反落。午後は米金利の上昇幅が縮小した事や、米国が連休を控えていることから、150.20付近を中心とした動意乏しい推移が続き、150.23でクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.07台後半でスタート。シュアヘルECB専務理事が「拙速な政策調整にならないよう慎重になる必要がある」と利下げに慎重な姿勢を示したことから、1.0770近辺での高値圏での動きが続き、1.0768でNYオープン。午前中に発表された強い米PPIの結果を受け、1.0733まで値を下げる場面もあったが、その後は1.0760付近まで徐々に戻す。午後ユーロ高の流れが続き、1.0787まで上昇。その後小幅反落し、1.0776でクロス。

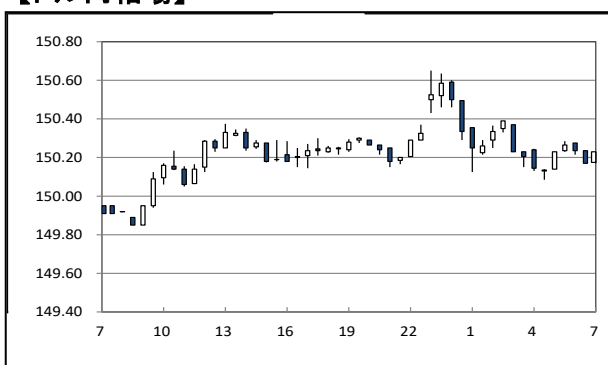
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月16日	09:00	米 アトランタ連銀総裁 講演	物価統計改善すれば年内3回利下げも	
2月16日	16:00	英 小売売上高(除自動車燃料、前月比/前年比)	1月 3.2%/0.7%	1.7%/-1.5%
2月16日	22:00	米 リッチモンド連銀総裁 講演	物価が持続的に下がるまで利下げは適切でない	
2月16日	22:30	米 住宅着工件数	1月 1331k	1460k
2月16日	22:30	米 建設許可件数	1月 1470k	1512k
2月16日	22:30	米 PPI(前月比/前年比)	1月 0.3%/0.9%	0.1%/0.6%
2月16日	23:10	米 バーFRB副議長 講演	商業用不動産リスクに細心の注意	
2月17日	00:00	米 ミシガン大学消費者マインド・速報	2月 79.6	80.0
2月17日	02:45	米 サンフランシスコ連銀総裁 講演	年内3回の利下げ予想は妥当	

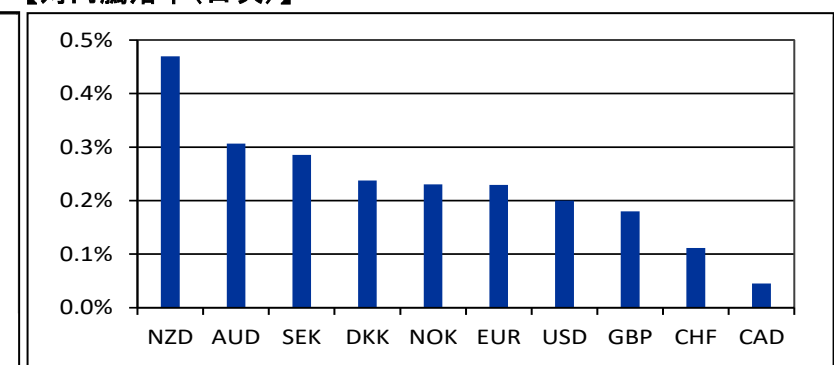
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
-	-	主要経済指標の発表なし	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	149.70-151.00	1.0720-1.0850	161.20-162.50

【マーケット・インプレッション】

先週金曜日のドル円は149円台後半で取引開始。日経平均株価の上昇、米金利の上昇を背景に150円台へ値を戻した。米1月PPIの結果を受けて一時150.65まで上昇も、基本的には150円台前半でのレンジ推移に終始し、結局150.23でクロスした。本日のドル円は150円台前半でのレンジ推移継続か。米1月PPIは先日の米1月CPIの結果と同様に市場予想を上回り、再び粘着性の高さが確認された。市場が織り込んでいた米国の早期利下げ期待は剥落し、5月FOMCでの利下げ織込みはCPI発表前の7割から4割を割り込む水準まで低下している。ただ、節目の151円を超える勢いは欠いており、現時点での水準で神経質な展開が続くだろう。本日は大きく相場を動かす指標等の発表は予定されていない。米国が大統領記念日で休場となる中、閑散相場となるか。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 西・伊藤